



# キュービーネットホールディングス株式会社

2022年6月期 第1四半期 決算説明資料

2021年11月12日

# エグゼクティブサマリー

- 売上収益は、前年同期比9.5%増収の5,052百万円と回復傾向
- 営業利益は、前期1Qに助成金579百万円の計上があったため、前年同期比2.9%減益の432百万円。但し、助成金を除くと、実質増収増益
- 国内の売上は、第5波の影響を受けつつもほぼ計画通り。9月30日に緊急事態宣言が解除され、10月上旬の気温が高く推移したことなどから、10月も計画並みの回復
- 海外の売上は、感染者数増に伴い一部影響を受けたが、海外合計では回復傾向が継続
- 計画比では、売上収益30百万円増、営業時間短縮や採用抑制等により売上原価96百万円減、販管費45百万円減等により、営業利益は計画比181百万円増

# グループ連結業績（サマリー）

- 2022年6月期1Qは、前期比で増収減益
- 但し、前期1Qに助成金579百万円の計上があったため、助成金を除くと実質増収増益

## グループ連結業績（サマリー）

単位：百万円	2022年6月期第1四半期		2022年6月期上期予想			2022年6月期通期予想		
	実績	前期比 (%)	予想	前期比 (%)	進捗率	予想	前期比 (%)	進捗率
売上収益	5,052	109.5%	10,140	109.0%	49.8%	20,840	110.1%	24.2%
営業利益	432	97.1%	480	133.9%	90.0%	1,100	237.3%	39.3%
税引前利益	392	98.5%	390	146.2%	100.6%	920	321.2%	42.6%
当期利益	262	92.3%	270	117.9%	97.2%	640	262.4%	41.0%
基本的1株当たり 当期利益	20円44銭		21円02銭			49円09銭		
1株当たり配当額	—		—			未定		

## 【連結】 新店・移転・閉店の実績

### － 国内の閉店理由は、駅開発工事に伴うものとFC契約満了によるもの

単位：店舗	業態	2021/6期末	新店	移転	閉店	増減	第1四半期末
日本	QB HOUSE	565	3	1	△2	2	567
	QB PREMIUM	1	0	0	0	0	1
	FaSS	13	0	0	0	0	13
国内小計		579	3	1	△2	2	581
シンガポール	QB HOUSE	23	0	0	0	0	23
	QB HOUSE Premium	9	0	0	0	0	9
	QB HOUSE Kids	2	0	0	0	0	2
香港	QB HOUSE	66	1	0	0	1	67
台湾	QB HOUSE	31	0	0	△1	△1	30
アメリカ	QB HOUSE	4	0	0	0	0	4
海外小計		135	1	0	△1	0	135
連結グループ合計		714	4	1	△3	2	716

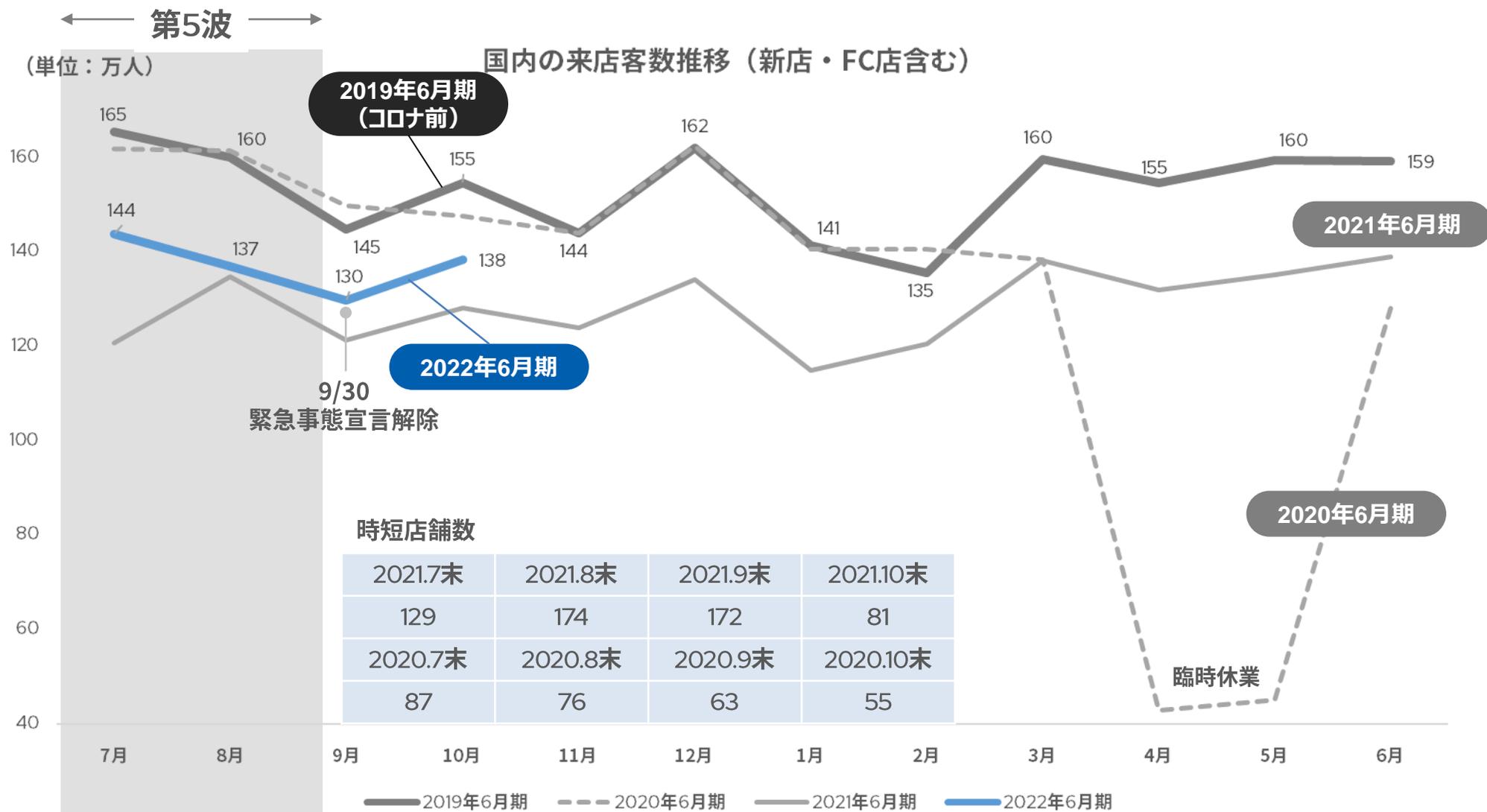
※シンガポール：12S\$（約1,000円）、QB HOUSE Premium：15S\$（約1,260円）、QB HOUSE Kids：12歳以下22S\$（約1,850円）

※香港：70HK\$（約1,000円）、台湾：300元（約1,200円）、アメリカ：25US\$（約2,830円）

※日本：1,200円、65歳以上且つ平日利用1,100円、QB PREMIUM：1,650円、FaSS：2,200円

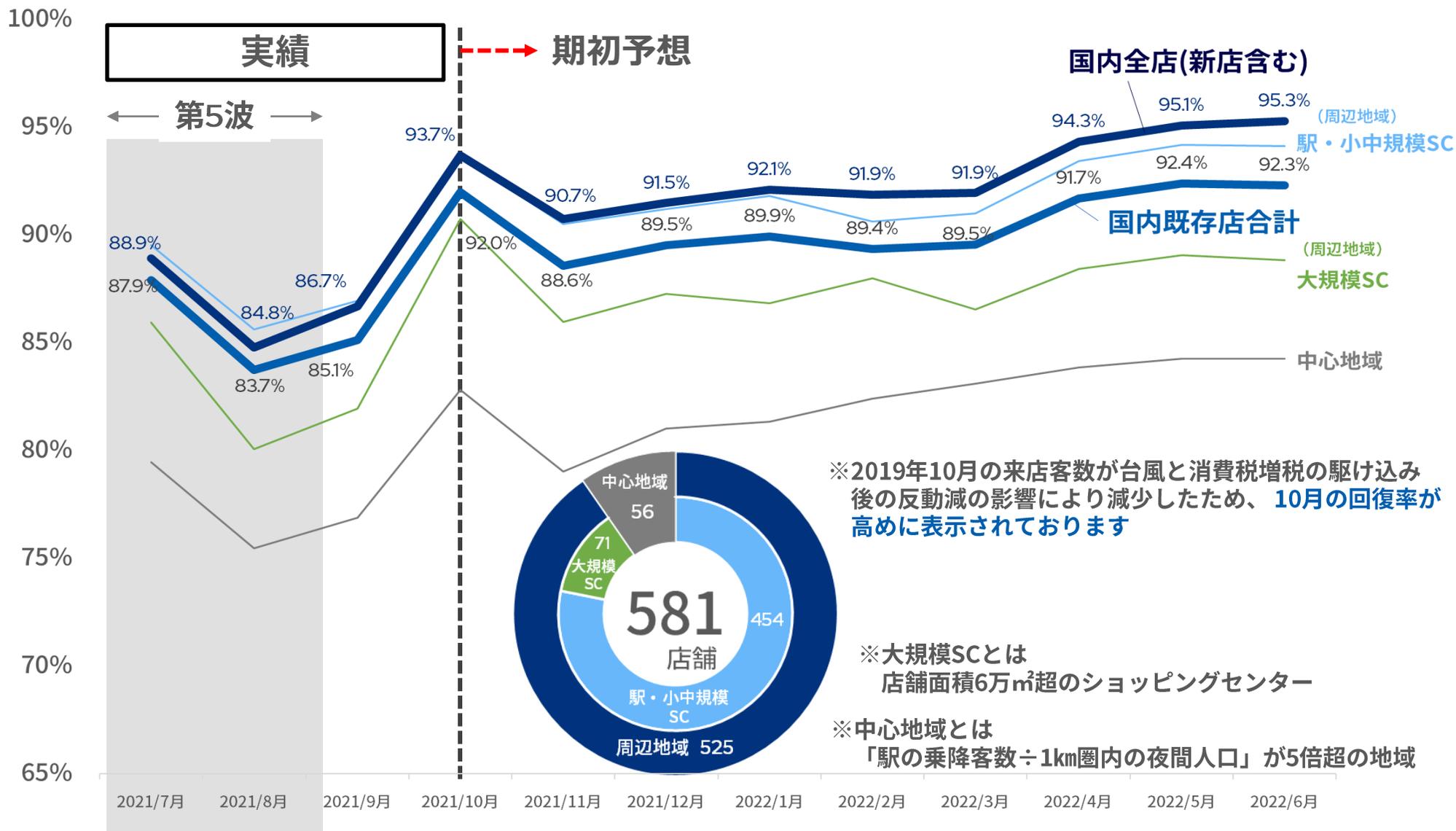
# 【国内】来店客数の年別比較

- 1Qはコロナの第5波の影響あり。9月30日の緊急事態宣言の解除等に伴い10月は回復



# 【国内】来店客数（立地別）の回復実績・回復想定

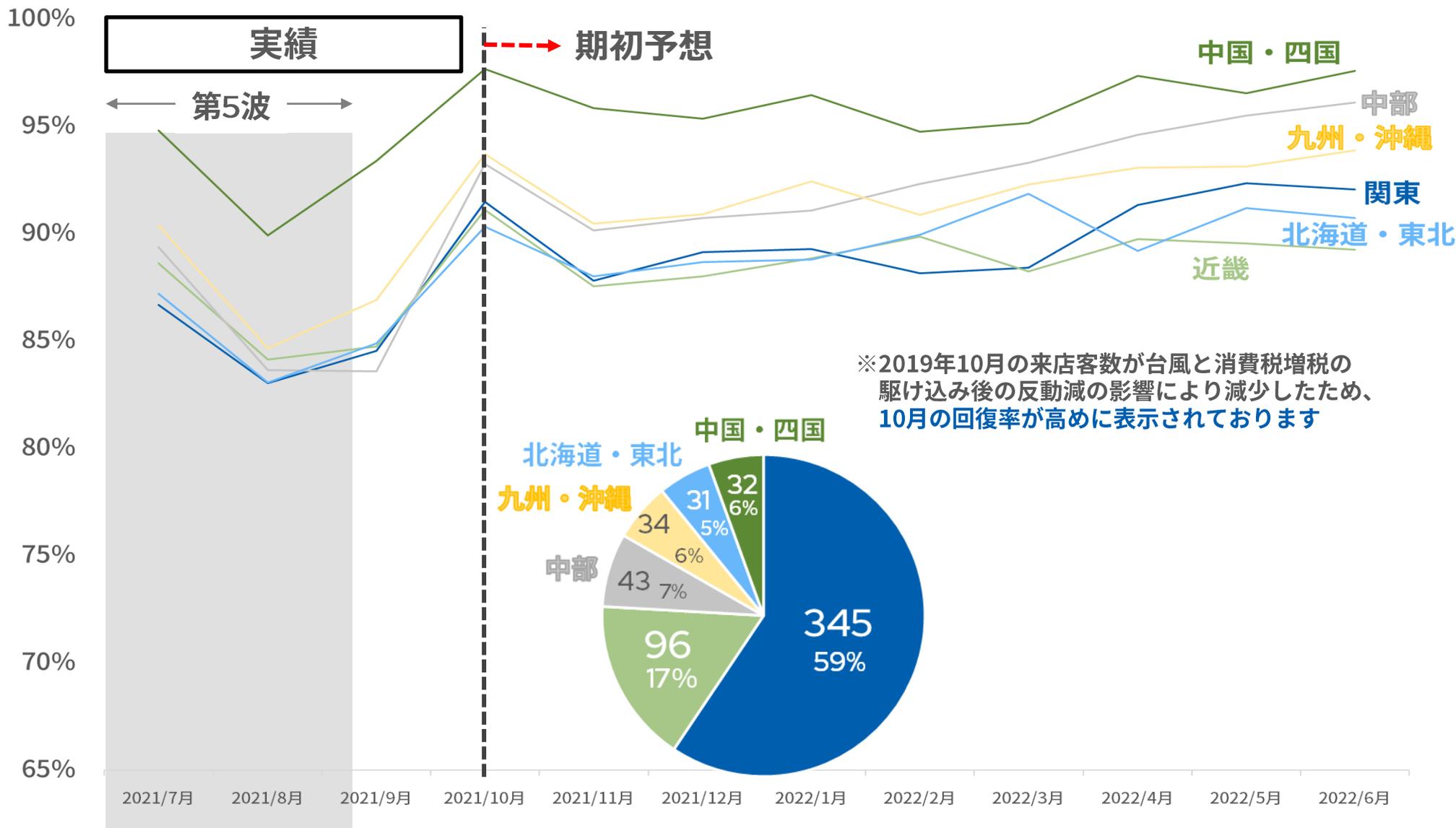
## 第5波の影響を受けつつも、10月まではほぼ計画並みの回復



※2月までは前々年比。3月以降はコロナ前の水準を100%とした場合の比率

# 【国内】来店客数（地域別）の回復実績・回復想定

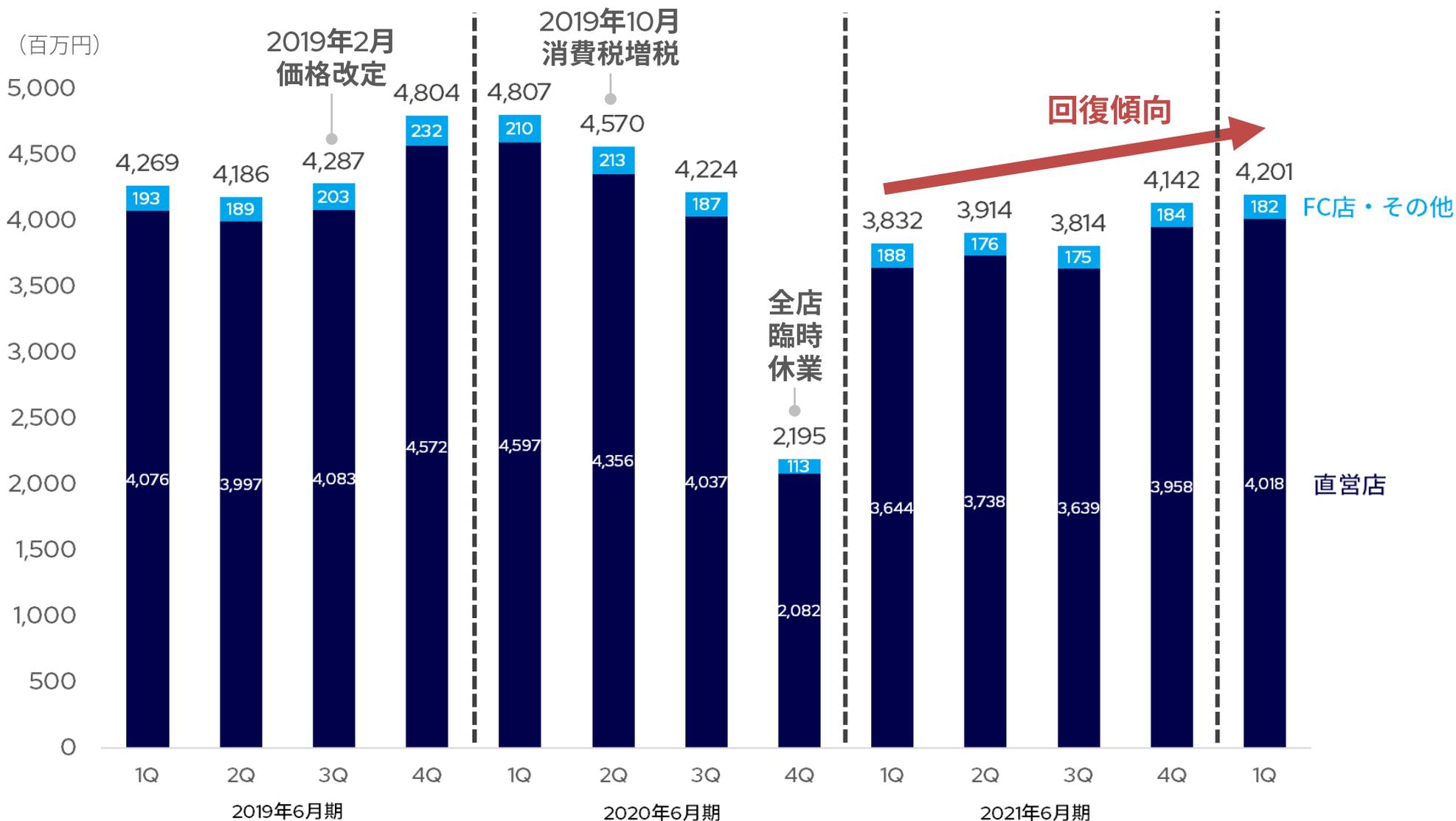
9月30日の緊急事態宣言の解除や10月上旬の気温の上昇等に伴い、10月は全地域で回復



※2月までは前々年比。3月以降はコロナ前の水準を100%とした場合の比率

# 【国内】売上収益の推移

国内1Qの売上収益は、第5波の影響を受けつつも回復傾向（通常は1Q・4Qが繁忙期）



※グループ会社間の内部取引は控除しております

## 【海外】 事業の状況

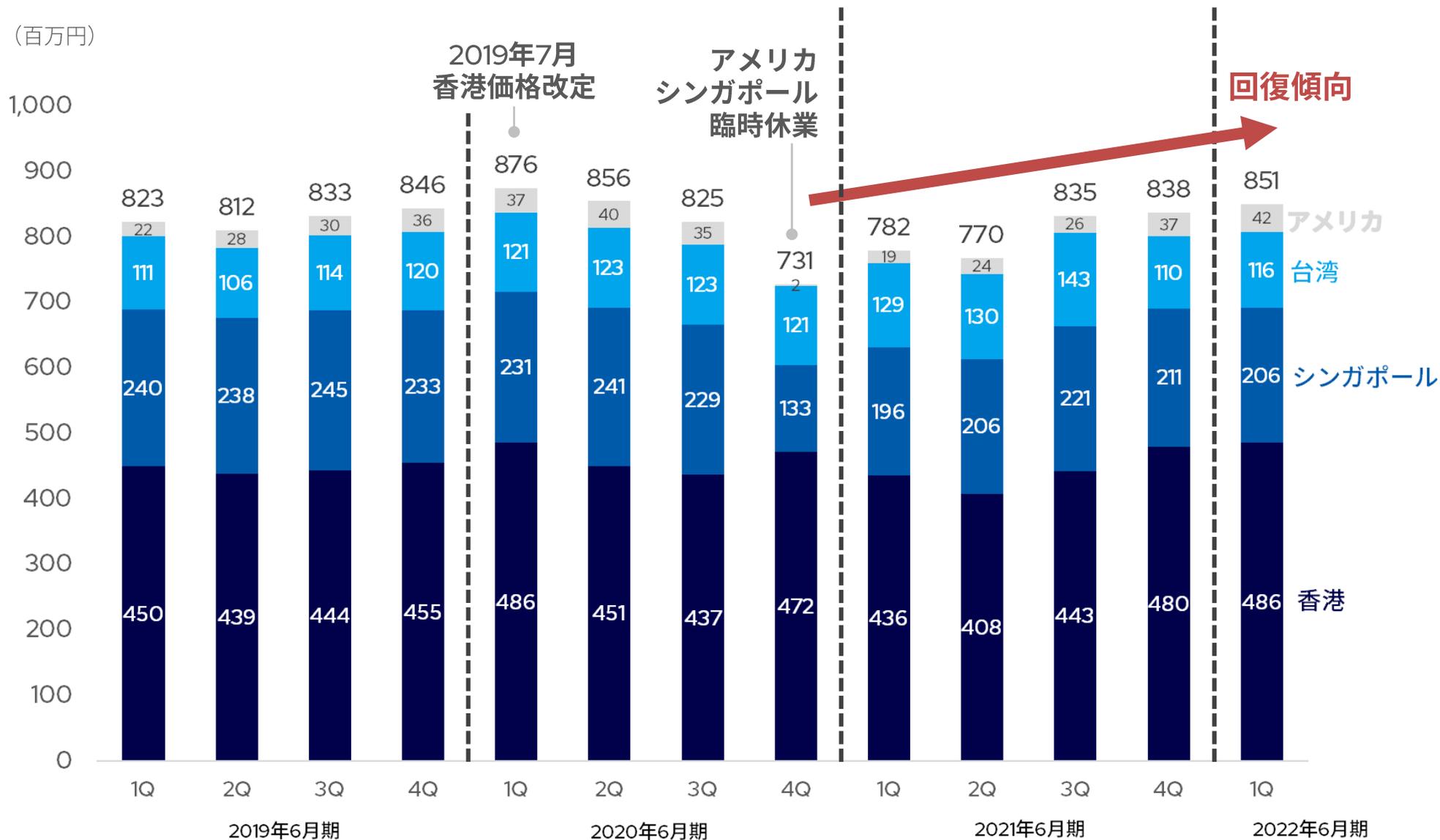
	売上 1Q 前々年比	来店客数 1Q 前々年比	状況
香港	99.9%	96.9%	7～8月は台風の影響一部あり 感染状況は落ち着いているが、防疫措置は維持 (感染者数は海外渡航者で数件程度)
シンガポール	89.1%	84.1%	8月10日から経済活動を再開 9月8日から感染者数増加により、職場での集まりや交流が禁止 9月27日から店内飲食の上限を2人に規制強化 9月～10月に感染者数増
台湾	96.0%	82.6%	7月は一部店舗の営業時間短縮・臨時休業の影響あり 7月27日から防疫レベルが下がり、商業施設の営業時間が正常化 8月3日から感染状況の落ち着きにより、店内飲食解禁
アメリカ	112.6%	87.9%	9月の売上は1年7か月ぶりにコロナ前の過去最高記録を更新 価格改定 (2020年6月20ドル→23ドル、11月23ドル→25ドル) の影響あり

※売上は円単位で比較しているため、為替レートの差異による影響分を含んでおります

※コロナ前と比較するため、前々年比(但し、新店含む)で比較しております

# 【海外】売上収益の推移

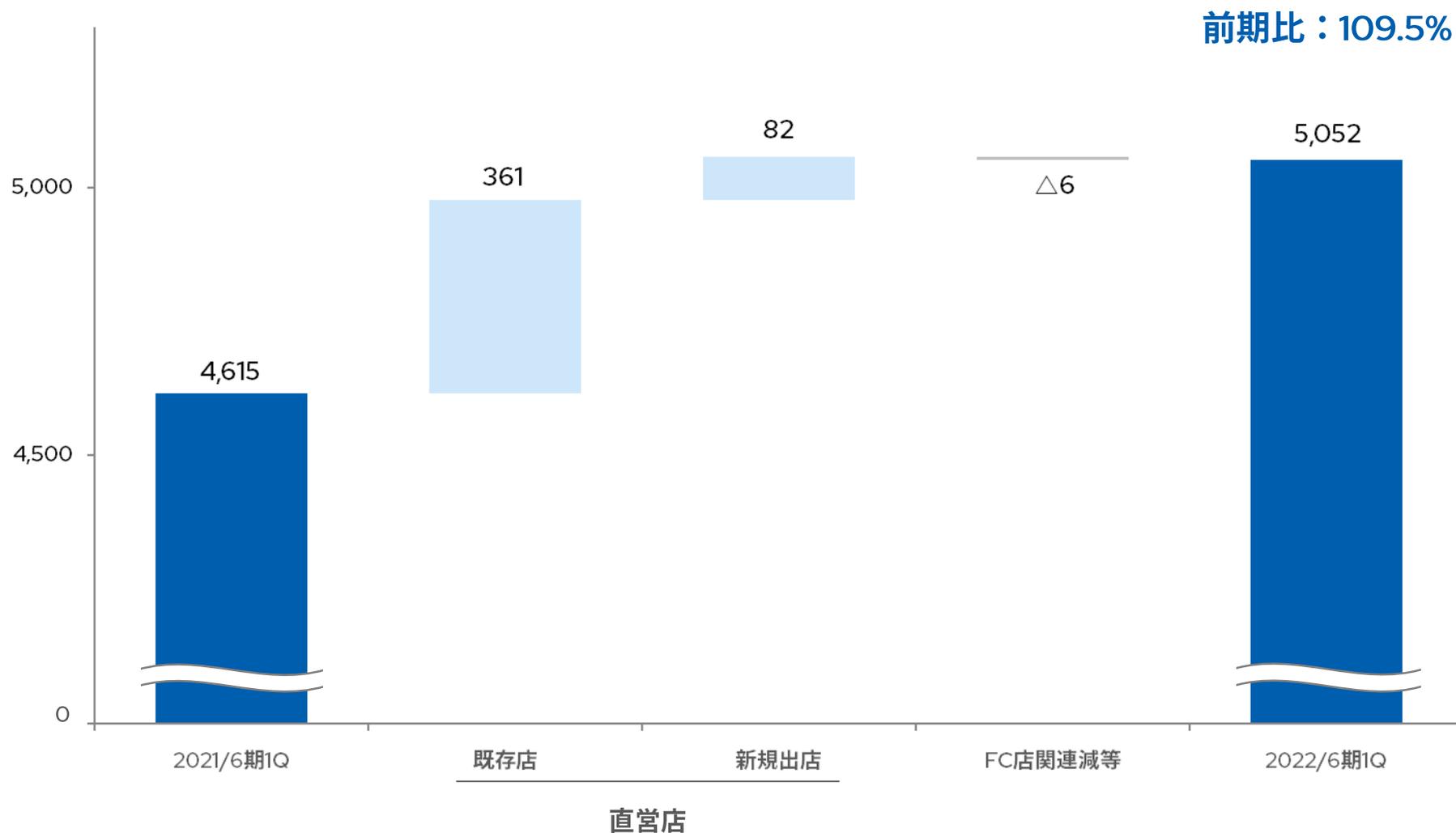
海外合計の売上収益は、前々期4Q（2020年4～6月）をボトムに回復傾向が継続



## 【連結】売上収益の増減内訳（前期比）

- 売上収益は、第5波の影響を受けつつも回復傾向となり、前期比437百万円の増加

単位：百万円

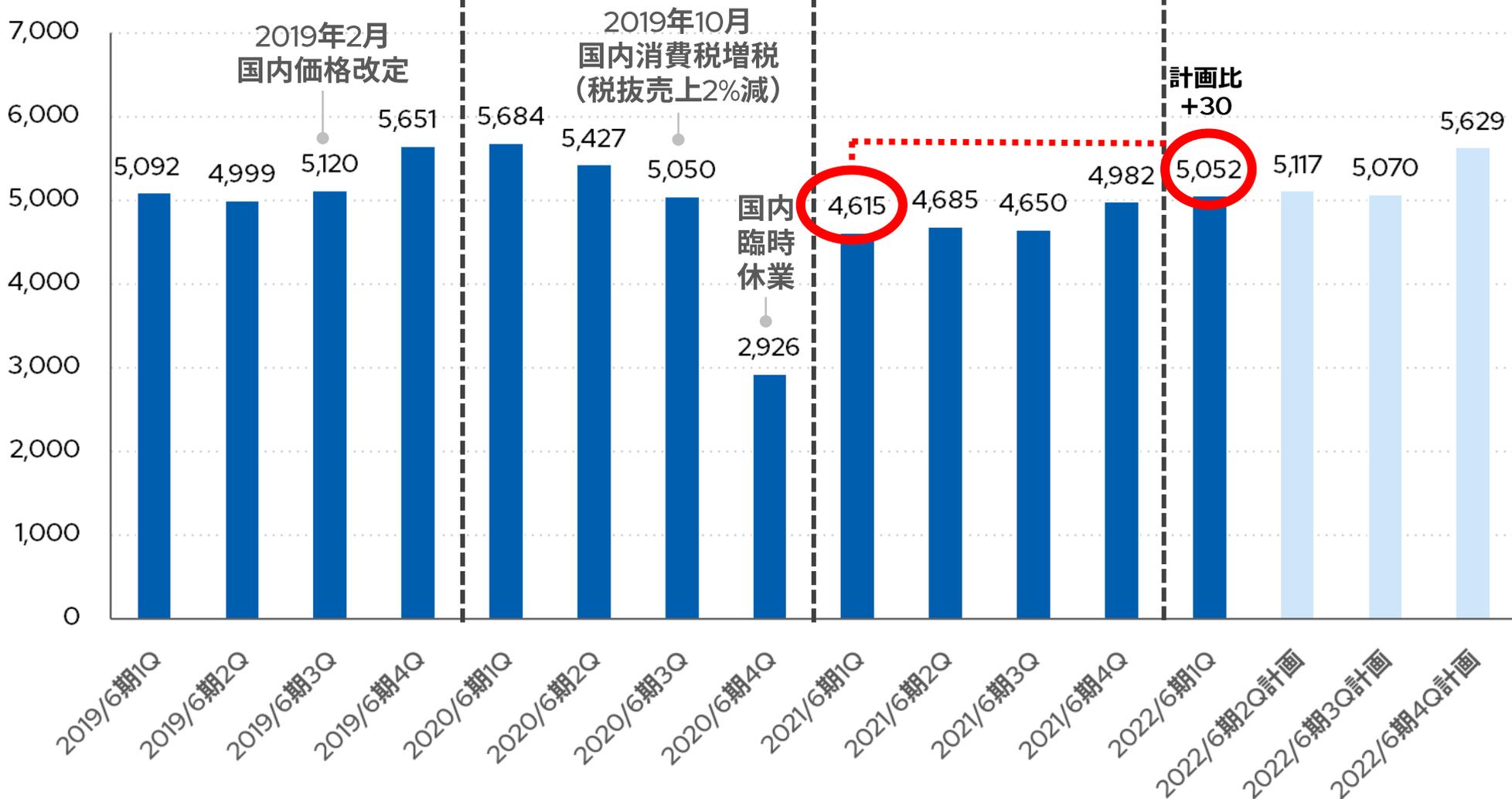


※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

# 【連結】売上収益の推移

実績 → 期初予想

単位：百万円

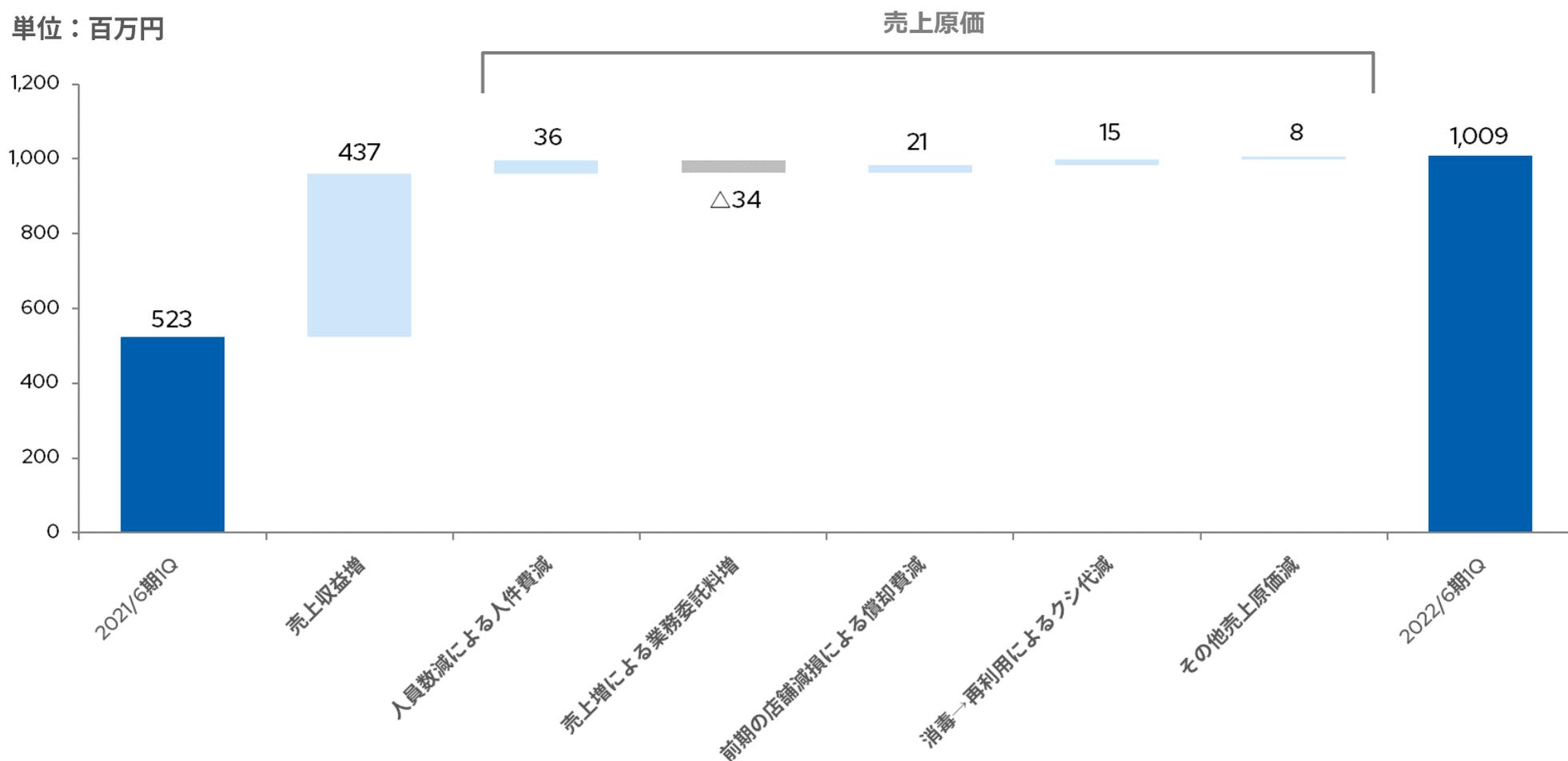


## 【連結】売上総利益の増減内訳（前期比）

- 粗利は、売上収益増に加え、前期の店舗減損による償却費減やリユースによるクシ代減等があり、前期比485百万円増加

前期比192.6%

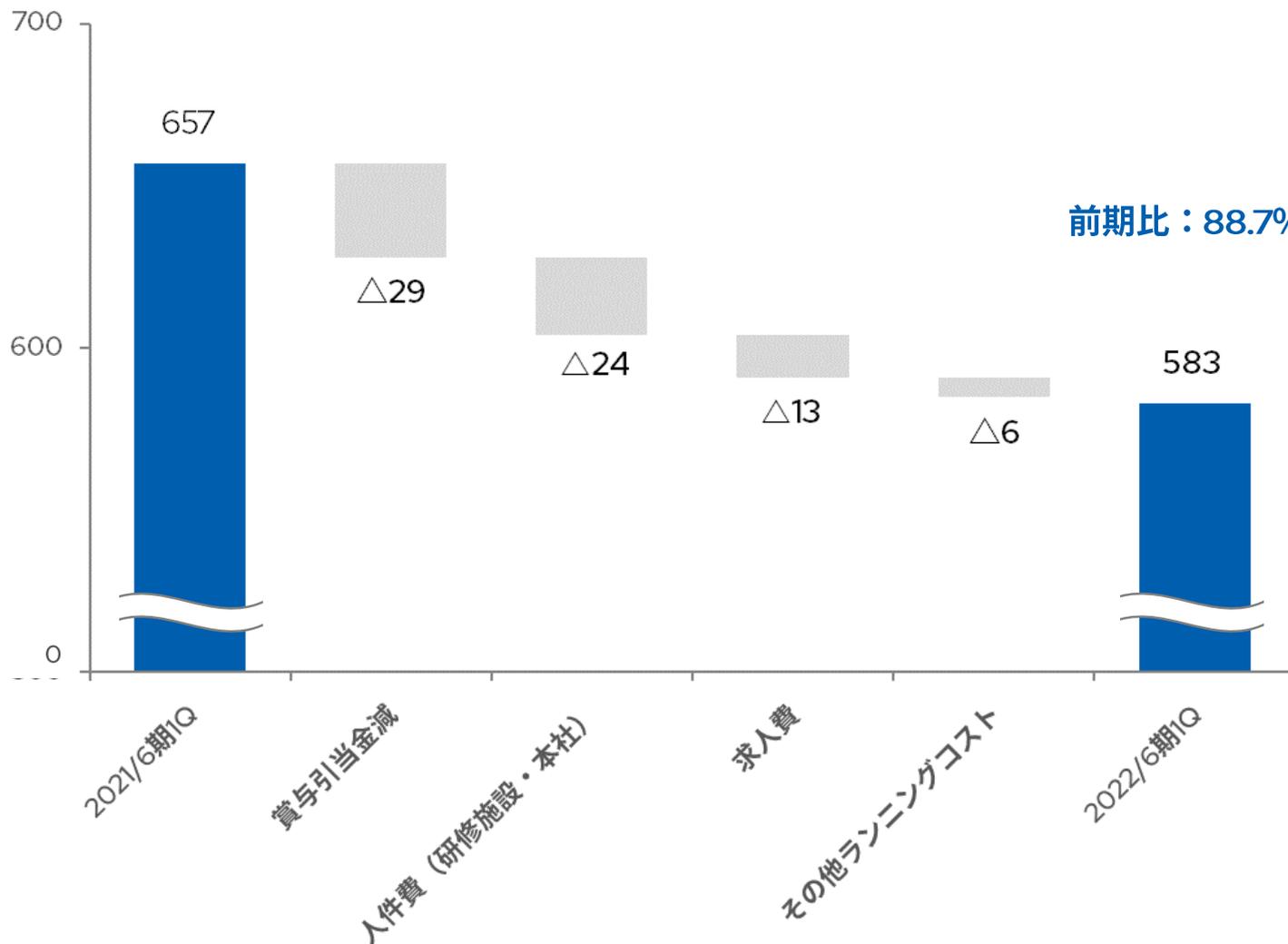
単位：百万円



## 【連結】 販管費の増減内訳（前期比）

- 販管費は、第5波の渦中の採用抑制による研修施設および本社の人件費減、求人費減により前期比74百万円減

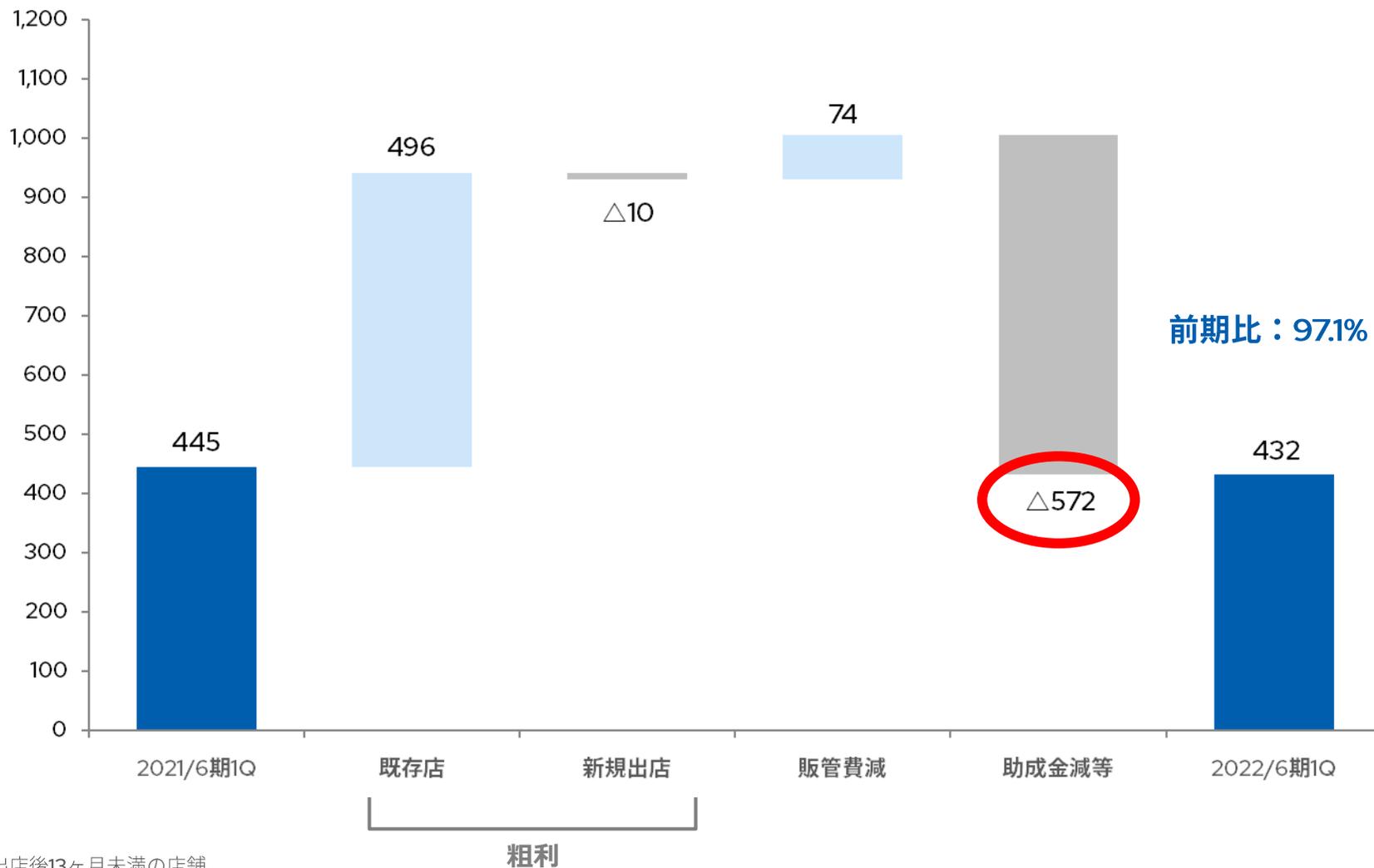
単位：百万円



## 【連結】 営業利益の増減内訳（前期比）

- 営業利益は、助成金が減少したものの、売上の回復とコスト削減により前期並みの利益を確保

単位：百万円

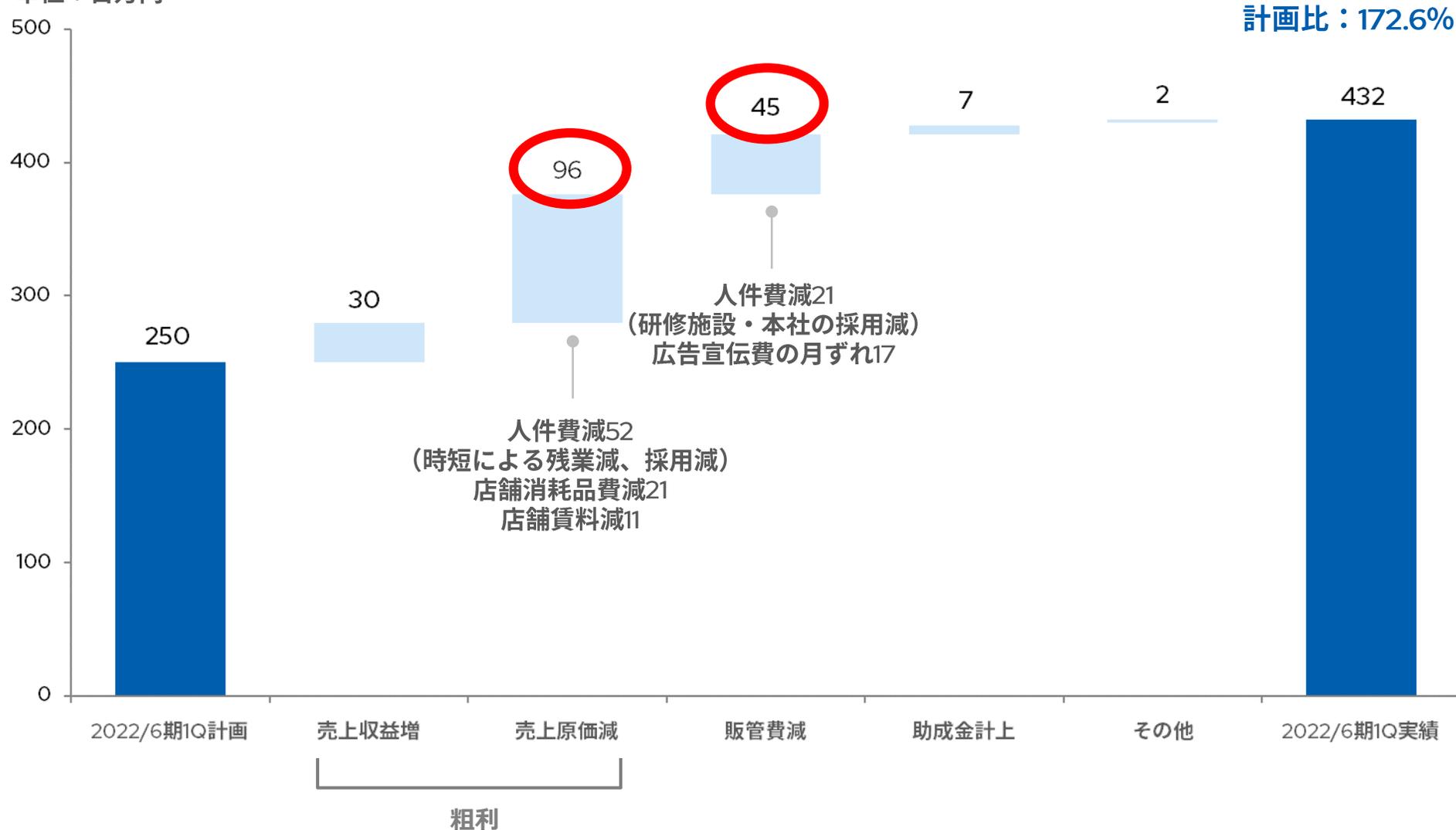


※新規出店は出店後13ヶ月未満の店舗

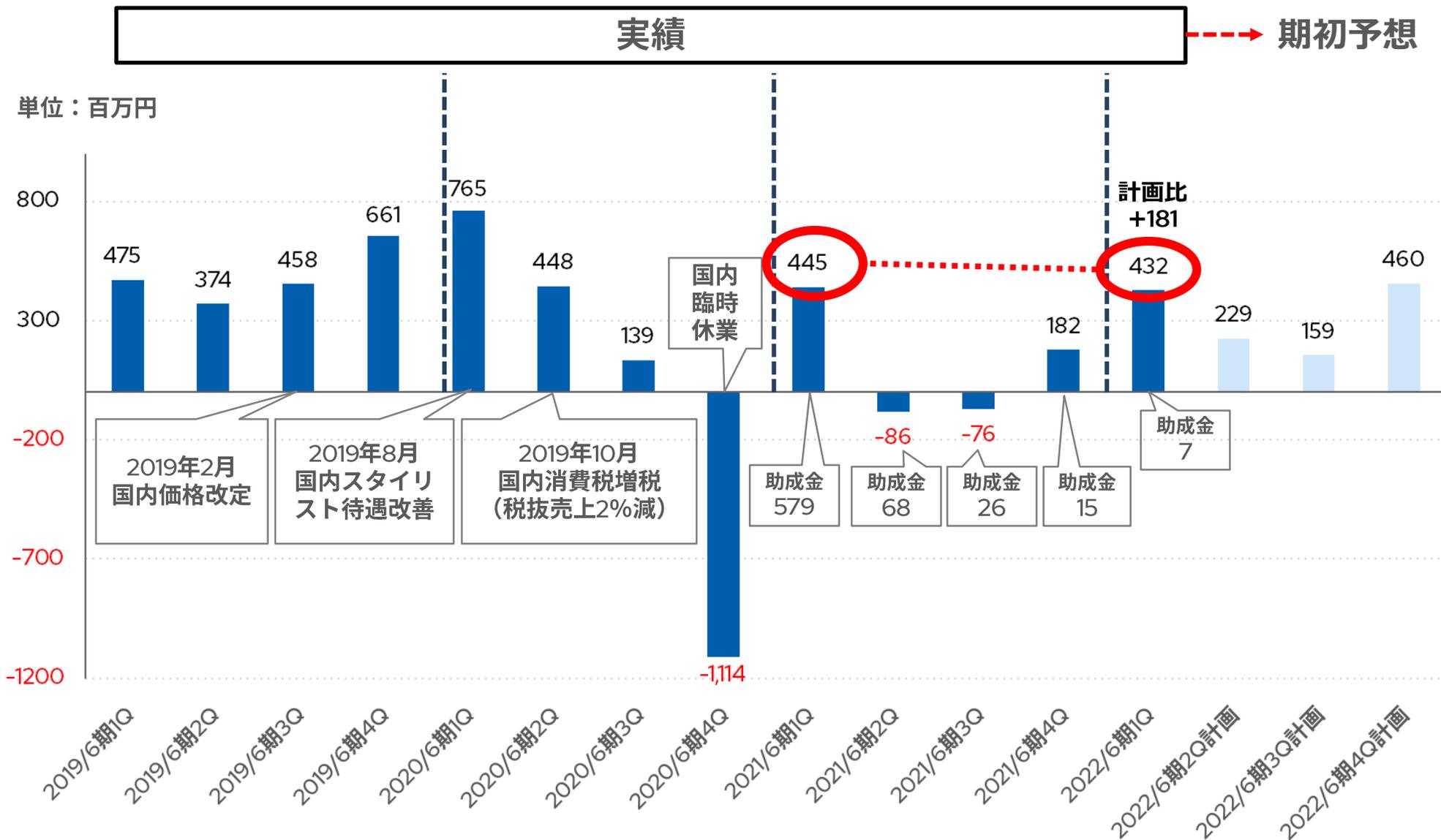
# 【連結】 参考：営業利益の増減内訳（計画比）

- 営業利益は、主に時短による残業代減・採用減等の売上原価および販管費の減少により、計画比181百万円増

単位：百万円



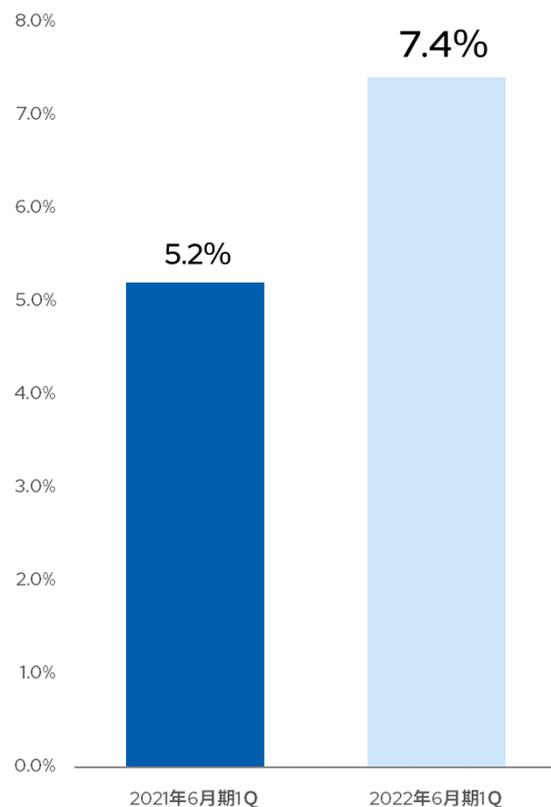
# 【連結】 営業利益の推移



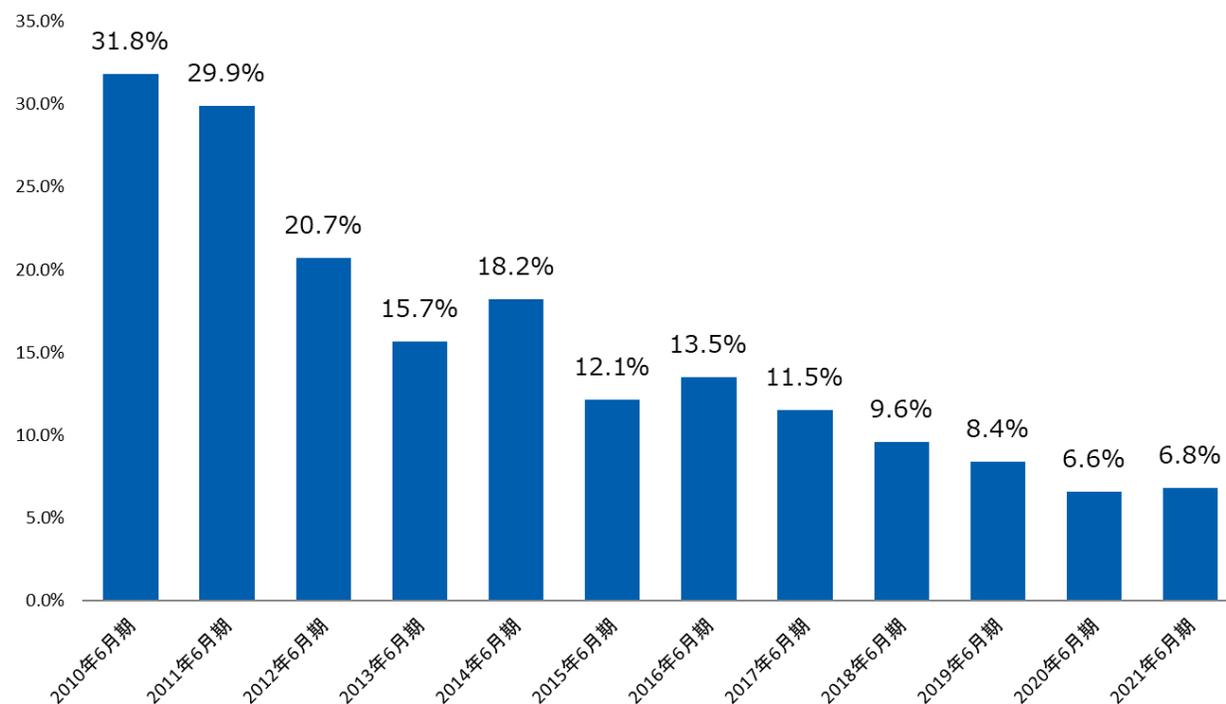
# 【国内】スタイリスト（正社員）の退職率の推移

- 国内正社員の1Qの退職率は、年率換算で7.4%（前期比2.2%ポイント増）
- 1Qの正社員の退職者数が前期比8人増と分母となる正社員数の減少によるもの

## 国内正社員の1Qの退職率（年率換算）



## 【参考】国内正社員の退職率の推移（年間実績）



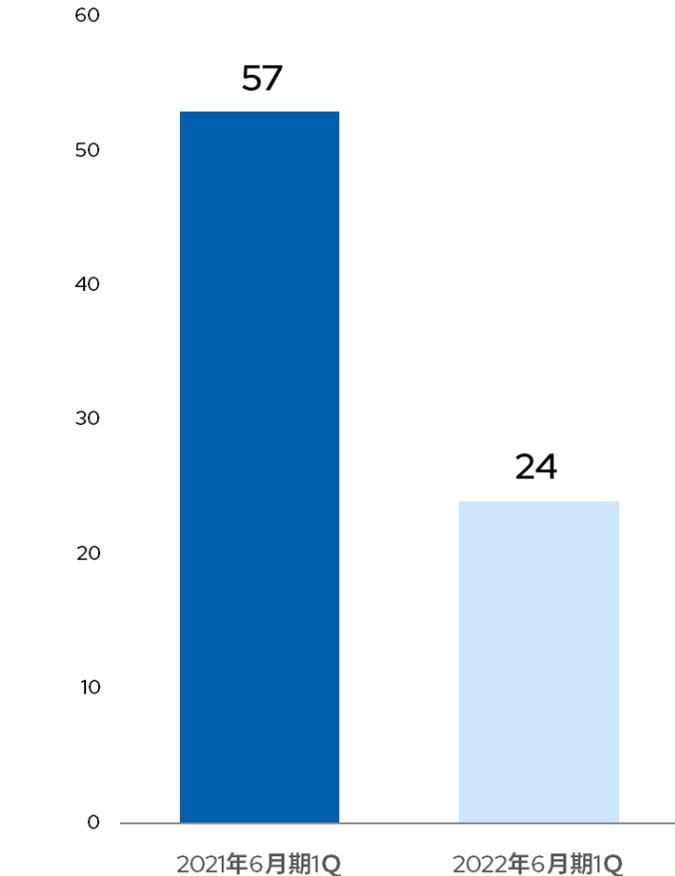
※本社は除く

※研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

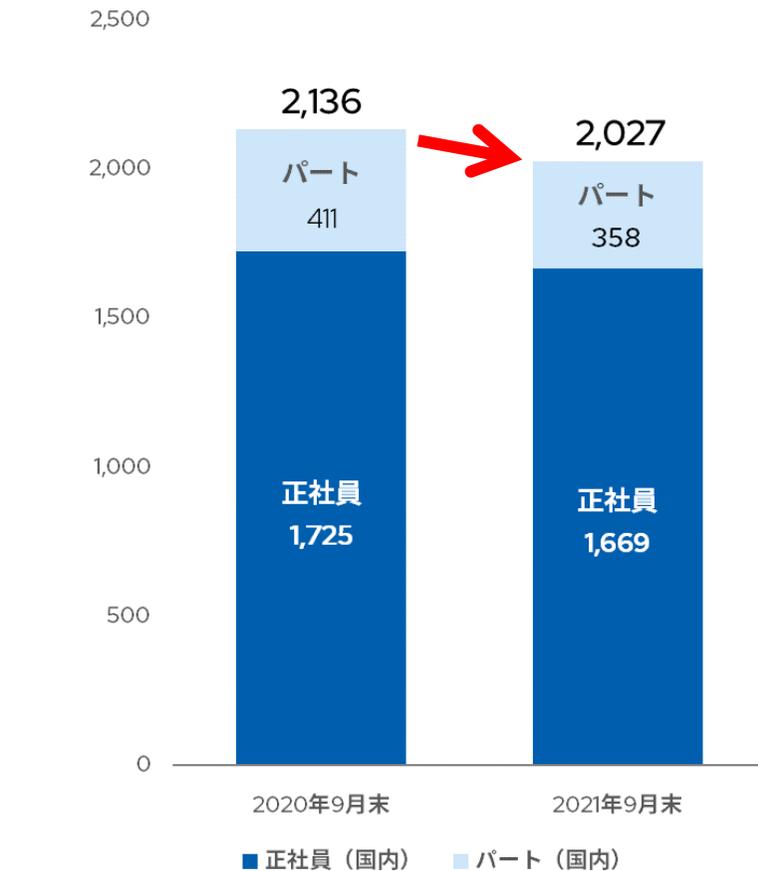
# 【国内】スタイリストの人員状況

- 国内正社員の1Qの採用数は、第5波の中での採用抑制により24人（前期比▲33人）
- 従業員数は、前期の採用抑制もあり1年間で▲109人（正社員▲56人、パート▲53人）

単位：人 国内正社員の1Qの採用数



単位：人 2021年9月末の国内従業員数



※業務委託先店舗からの正社員の移籍を除く。  
本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

※業務委託先店舗からの移籍を含む。  
本社は除く。研修施設（ロジスカットプロフェッショナルスタイリストスクール）含む

# Appendix

# 今後の事業KPI

- 既存店客数の減少を他の項目で補い、**コロナ前の利益水準以上を目指す**



※白星マークは現在地点を示す

## FaSSの予約利用率は33%へ上昇中 (利用率の高い店舗では44%)

新アプリの導入により

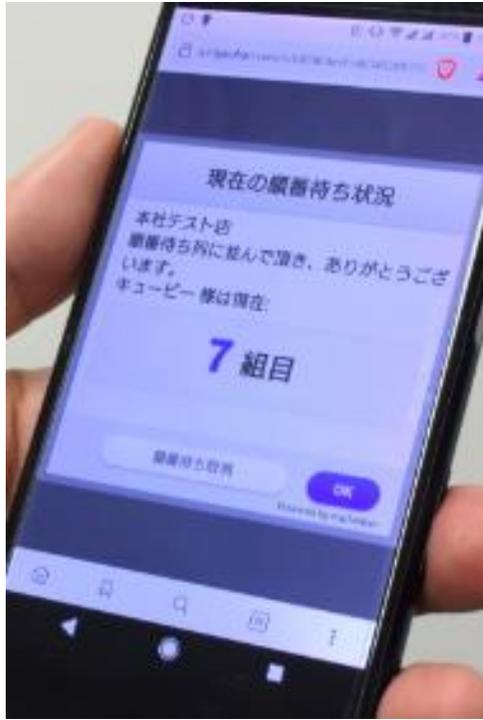


- ▶ 時間優先予約が可能  
利便性向上、チャンスロス軽減
- ▶ お客様満足度の向上  
電子カットカルテを利用し、  
お客様のオーダーの煩わしさを  
軽減
- ▶ 店舗運営効率の向上  
キャッシュレスとカウンセリング  
時間の短縮

# 新順番案内システム（国内QB HOUSE）

スマホ等から順番予約が可能な新順番案内システムを2店舗で試験中  
（京王モールアネックス店、イトーヨーカドー木場店）

## 順番案内システム V2.0(オンライン予約版)



スマホの画面



本社テスト店		待ち数: 23
現在の順番待ち状況		
さいとう 様	17	やまぐち 様
わたべ 様	18	いのうえ 様
いしかわ 様	19	きむら 様
やまもと 様	20	はやし 様
なかむら 様	21	しみず 様

店内のモニター

混雑状況を見ながら、  
新順番案内システムの  
テスト店を拡大予定



- 店内で待ちたくないというニーズ  
オンライン順番予約により店舗内滞在時間を短縮
- 待ち時間の有効活用

# グループ連結業績概要

## 連結損益計算書

単位：百万円	2021/6期1Q		2022/6期1Q			
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	前期比
売上収益	4,615	100.0%	5,052	100.0%	437	109.5%
売上原価	△4,091		△4,043		48	98.8%
売上総利益	523	11.4%	1,009	20.0%	485	192.6%
その他の営業収益	590	※助成金579	10	※助成金7	△579	
販売費及び一般管理費	△657		△583		74	88.7%
その他の営業費用	△11		△4		6	
営業利益	445	9.6%	432	8.6%	△12	97.1%
金融収益	3		3		0	107.5%
金融費用	△50		△43		6	86.1%
税引前利益	398	8.6%	392	7.8%	△5	98.5%
法人所得税費用	△113		△129		△16	114.2%
当期利益	284	6.2%	262	5.2%	△21	92.3%

# グループ連結業績概要

## 連結財政状態計算書

単位：百万円	2021/6期 4Q末	2022/6期 1Q末	増減額	
<b>流動資産合計</b>	<b>5,641</b>	<b>5,773</b>	<b>132</b>	
現金及び現金同等物	4,601	4,748	146	● 利益（黒字）による増 平常時より手元資金を厚めに保有 （平常時の手元資金は20億円程度）
営業債権及びその他の債権	781	765	△ 16	
棚卸資産	104	93	△ 11	
その他	152	166	13	
<b>非流動資産合計</b>	<b>24,992</b>	<b>24,742</b>	<b>△ 250</b>	
有形固定資産	1,502	1,470	△ 31	
使用権資産	5,313	5,088	△ 225	● 新店減、家賃・リース料支払いによる減少
のれん	15,430	15,430	-	
その他の金融資産	1,854	1,865	10	
繰延税金資産	654	661	7	
その他	238	226	△ 11	
<b>資産合計</b>	<b>30,634</b>	<b>30,516</b>	<b>△ 118</b>	
<b>負債合計</b>	<b>20,477</b>	<b>20,065</b>	<b>△ 412</b>	
営業債務及びその他の債務	202	198	△ 3	● 借入金約定返済（△175百万円）
有利子負債	12,843	12,674	△ 168	● 新店減、家賃・リース料支払いによる減少
リース負債	5,366	5,140	△ 226	● 新店減、家賃・リース料支払いによる減少
その他	2,065	2,051	△ 14	
<b>資本合計</b>	<b>10,156</b>	<b>10,451</b>	<b>294</b>	
<b>負債及び資本合計</b>	<b>30,634</b>	<b>30,516</b>	<b>△ 118</b>	

# グループ連結業績概要

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2021/6期1Q	2022/6期1Q	増減額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	1,118	1,027	△ 91
税引前利益	398	392	△ 5
減価償却費及び償却費	817	787	△ 29
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△ 6	27	34
利息の支払額	△ 34	△ 39	△ 5
助成金の受取額	579	7	△ 572
法人所得税の支払額	△ 43	△ 38	4
その他	△ 591	△ 108	482
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	△ 135	△ 84	50
有形固定資産の取得による支出	△ 128	△ 68	59
無形資産の取得による支出	0	△ 2	△ 1
その他	△ 6	△ 13	△ 6
<b>フリー・キャッシュ・フロー</b>	983	943	△ 40
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	203	△ 805	△ 1,009
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000	-	△ 1,000
長期借入金の返済による支出	△ 175	△ 175	-
配当金の支払額	△ 0	△ 0	△ 0
リース負債の返済による支出	△ 660	△ 656	3
その他	39	26	△ 13
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△ 15	9	24
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	1,171	146	△ 1,024
<b>現金及び現金同等物の当期末残高</b>	6,288	4,748	△ 1,540

● 助成金収入の減算調整の差異  
(調整はキャッシュ影響なし)

● 前期コミットメントライン借入

# 参考：今期の出店計画

## － 出店については、コロナ前の出店ペースへ戻し、新店強化

2022年6月期の新店・閉店の計画

単位：店舗	業態	2021/6期末	新店	閉店	増減	2022/6期末
日本	QB HOUSE QB PREMIUM	566	30	△6	24	590
	FaSS	13	2	0	2	15
	<b>国内小計</b>	<b>579</b>	<b>32</b>	<b>△6</b>	<b>26</b>	<b>605</b>
シンガポール	QB HOUSE QB HOUSE Premium QB HOUSE Kids	34	0	0	0	34
	香港	66	5	0	5	71
	台湾	31	5	△1	4	35
アメリカ	4	1	0	1	5	
<b>海外小計</b>	<b>135</b>	<b>11</b>	<b>△1</b>	<b>10</b>	<b>145</b>	
<b>連結グループ合計</b>		<b>714</b>	<b>43</b>	<b>△7</b>	<b>36</b>	<b>750</b>

(※) 新店数・閉店数は移転に伴う出店・閉店を含む

(※) シンガポールではQB HOUSE→QB HOUSE Premiumへの業態変更2店舗を計画

本プレゼンテーション資料は、当社及びその子会社の関連情報の開示のみを目的として作成したものであり、売買の勧誘を構成するものではありません。

本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。



**QBHOUSE**  
GLOBAL



QBハウスの  
訪問理美容サービス

